

U.S. Indicators

発表日: 2022年2月7日(月)

米国 労働参加率上昇も労働市場逼迫(1月雇用統計)

～22年1月の雇用上振れは人手不足の影響～

第一生命経済研究所 経済調査部

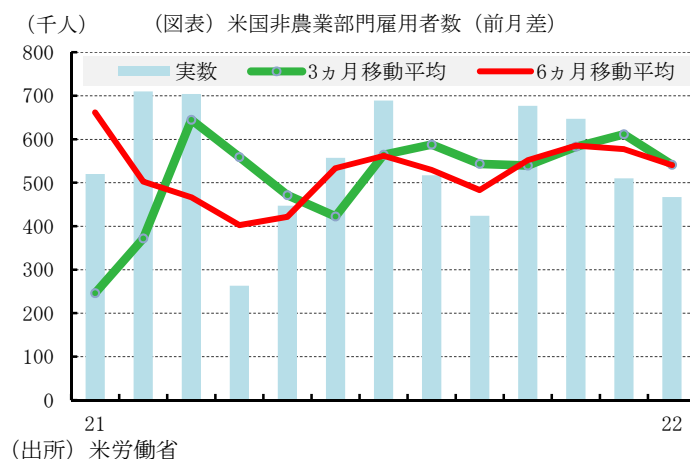
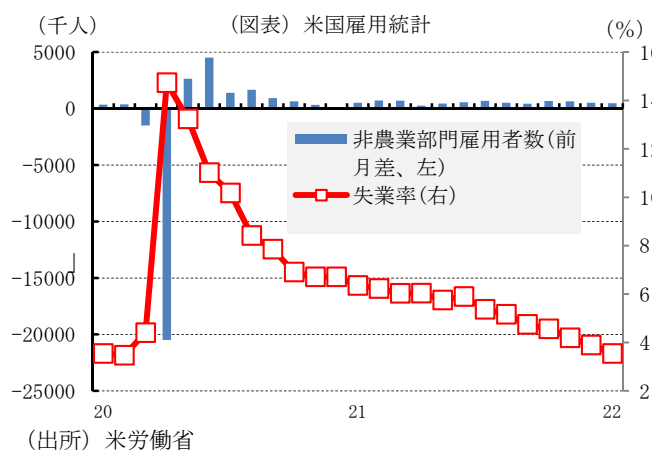
主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

22年1月の非農業部門雇用者数(事業所調査)は、前月差+46.7万人(12月同+51.0万人)と減速したものの市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の前月差+12.5万人(筆者予想同+21.2万人)を大幅に上回ったうえ、11、12月合計70.9万人上方修正された。政府部門が前月差+2.3万人(12月同+0.7万人)と加速したほか、民間部門が前月差+44.4万人(12月同+50.3万人)と市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の前月差+3.5万人(筆者予想同+20.8万人)を大幅に上回った。ただし、昨年後半の上方修正は21年の季節調整の修正によって変動が均された結果であるが、コロナ禍で歪みが生じている可能性が高い。また、22年1月の雇用者数は、人手不足を背景にオミクロン変異株の感染拡大によって働けなかった人々の一部に給与が支払われたほか、1月の解雇が例年よりも抑制され、強い数字になったと考えられる。民間では、新型コロナウイルスの感染が急拡大するなかで飲食店が最大の増加となったほか、小売業、派遣業、宿泊、芸術・エンターテインメント・余暇、外来医療サービス、卸売業、製造業、教育サービスなども高い伸びとなった。

月次での変動を均してみると、非農業部門雇用者数は21年後半の上方改定もあり3カ月移動平均で前月差+54.1万人(前月+61.1万人)、6カ月移動平均で同+54.0万人(前月+57.7万人)と速いペースの回復基調が示されている。

一方、1月の失業率(U3、家計調査)は、労働参加率の上昇によって4.0%(前月3.9%)と市場予想の3.9%(筆者予想3.8%)を上回ったものの低い水準にとどまった。また、“現在は職探しをしていないが過去1年間に求職活動を行った人”と“正規雇用を探しているがパートタイムで働いている人”も失業者を含む広義の失業率(U6)は、7.1%(前月7.3%)と低下した(筆者予想7.1%)。

1月の雇用統計では、雇用者数の増加ペースの上振れ要因を考慮しても堅調さを維持しているほか、労働参加率の上昇で失業率が小幅上昇したものの低い水準にとどまっており、労働市場の逼迫した状況に変化はみられない。ただし、次回3月FOMCでの25bpの利上げ見通し変わらず、50bpの利上げになるか否かはインフレ環境次第と考えられる。



米国雇用統計

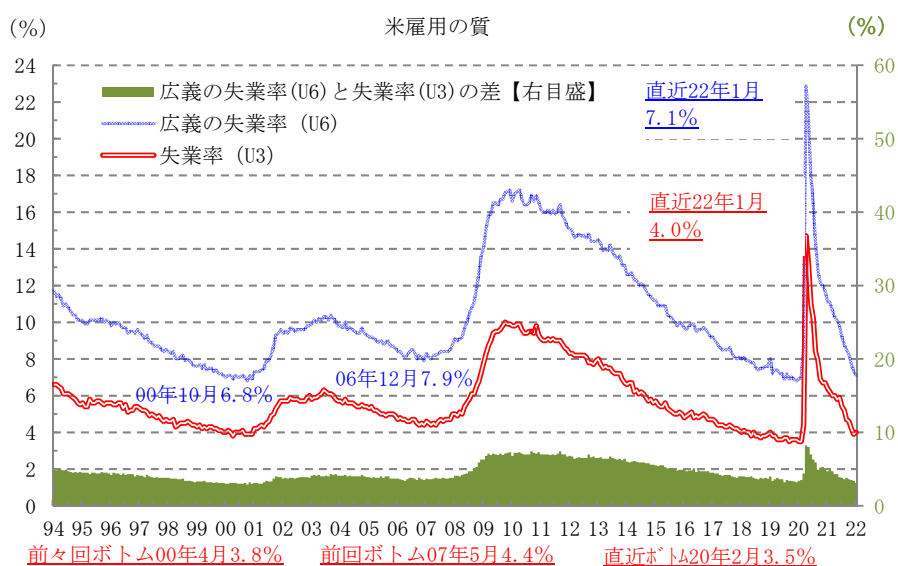
		失業率	非農業部門雇用者数							平均時給		労働時間	労働投入量	
			全体	製造業	建設業	サービス関連業				前月比	前年比		前月比	年率※
						全体	小売業	狭義サービス	政府					
			前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月比	前年比		前月比	年率※
四半期	19.4Q	3.6	182	▲8	▲4	203	9	144	25	0.8	3.2	34.3	0.1	0.4
	20.1Q	3.8	▲261	▲26	7	▲235	▲33	▲249	31	1.0	3.2	34.3	▲0.1	▲0.2
	20.2Q	13.0	▲4449	▲242	▲128	▲4048	▲338	▲2939	▲470	3.8	6.6	34.5	▲12.5	▲41.3
	20.3Q	8.8	1324	35	26	1270	186	817	169	▲0.8	4.9	34.7	6.4	28.1
	20.4Q	6.8	288	32	38	221	38	174	▲77	0.8	4.9	34.8	2.0	8.4
	21.1Q	6.2	645	26	17	603	53	428	56	1.0	5.0	34.8	1.1	4.4
	21.2Q	5.9	422	7	▲10	421	18	309	55	1.2	2.2	34.9	1.2	4.7
	21.3Q	5.1	543	42	16	482	37	355	29	1.4	4.5	34.8	1.0	4.0
	21.4Q	4.2	611	44	34	530	34	415	3	1.5	5.2	34.8	1.4	5.6
月次	2105	5.8	447	28	▲12	425	▲25	348	66	0.5	2.2	34.9	0.3	6.8
	2106	5.9	557	20	▲3	534	68	364	49	0.5	4.0	34.8	0.1	4.7
	2107	5.4	689	62	17	607	16	455	51	0.5	4.3	34.8	0.6	4.6
	2108	5.2	517	41	2	469	37	368	20	0.3	4.3	34.7	0.1	3.0
	2109	4.7	424	22	30	370	59	242	15	0.5	4.8	34.8	0.6	4.0
	2110	4.6	677	53	28	594	43	482	▲17	0.6	5.4	34.8	0.5	4.5
	2111	4.2	647	48	47	548	20	425	20	0.4	5.3	34.8	0.5	5.8
	2112	3.9	510	32	26	448	40	339	7	0.5	4.9	34.7	0.2	5.6
	2201	4.0	467	13	▲5	463	61	299	23	0.7	5.7	34.5	▲0.3	4.3

1月の業種別の動向をみると、飲食店が前月差+10.92万人と最大の増加となった。小売業（前月差+6.14万人）、運輸・倉庫（同+5.42万人）、専門・技術サービス（同+4.55万人）、派遣業（同+2.63万人）、宿泊（同+2.26万人）、芸術・エンターテイメント・余暇（同+2.01万人）、情報産業（同+1.8万人）、外来医療サービス（同+1.47万人）、卸売業（同+1.64万人）、製造業（同+1.3万人）、教育サービス（同+1.29万人）、個人・ランドリーサービス（同+0.63万人）、保育サービス（同+0.56万人）、会員サービス（同+0.56万人）、不動産・リース（同+0.53万人）、金融・保険（同+0.37万人）、公益（同+0.01万人）と続いた。一方、減少した業種は、個人・家族向けサービス（前月差▲0.78万人）、建設業（同▲0.5万人）、鉱業（同▲0.4万人）、看護・在宅介護（同▲0.01万人）となった。

政府部門では、全体で前月差+2.3万人増加した。連邦政府が前月差▲0.1万人、州政府が同▲0.9万人減少した一方、地方が同+3.3万人の増加となった。地方では、教育関連の雇用が前月差+2.94万人と増加したほか、教育以外の雇用が前月差+0.35万人増加した。

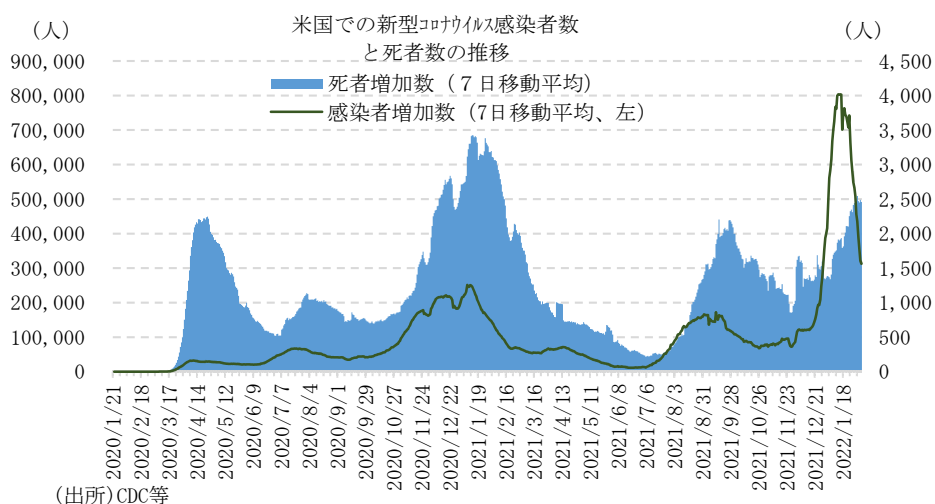
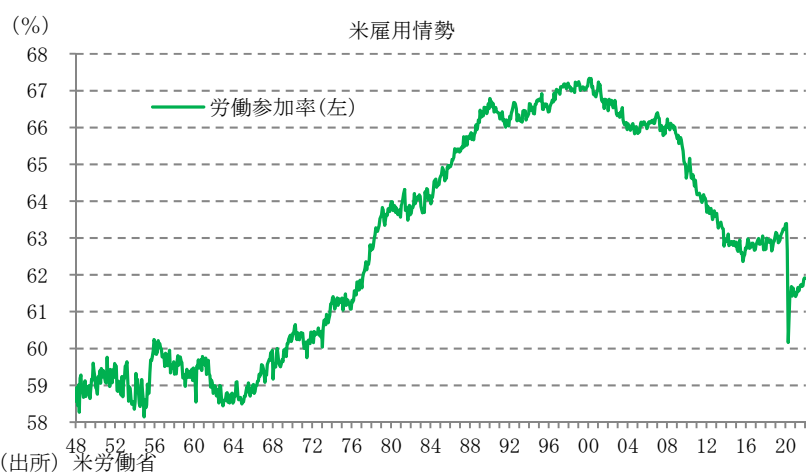
労働投入量は、オミクロン変異株の感染拡大を受けた雇用の増加ペース減速と労働時間の鈍化によって前月比▲0.3%（12月+0.2%）と失速したものの、3カ月移動平均・3カ月前対比年率で+4.3%（12月同+5.6%）と高い伸びを維持しており、労働需要の強い状況が持続している。

また、平均時給は、労働時間の鈍化などにより前月比+0.7%（前月+0.5%）、前年比+5.7%（12月+4.9%）と加速し高い伸びとなった。



(出所) 米労働省

(注) U6: 通常の失業者に加えて、正規雇用を探しているがパートタイムで働いている人や過去1年間に求職活動を行った人を失業者としてカウント



【改定前の数値】

米国雇用統計														
		失業率	非農業部門雇用者数						平均時給		労働時間	労働投入量		
			全体	製造業	建設業	サービス関連業			政府	前月比		前年比	前月比	年率※
						全体	小売業	狭義サービス						
			前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差					
四 半 期	19.4Q	3.6	197	▲2	11	195	12	133	13	0.7	3.1	34.3	0.3	1.3
	20.1Q	3.8	▲360	▲30	0	▲323	▲45	▲311	15	0.9	3.2	34.3	▲0.1	▲0.6
	20.2Q	13.0	▲4333	▲240	▲129	▲3939	▲327	▲2795	▲474	4.1	6.6	34.5	▲12.5	▲41.4
	20.3Q	8.8	1342	41	28	1274	174	837	168	▲0.9	4.7	34.7	6.7	29.6
	20.4Q	6.8	213	36	48	127	45	133	▲134	0.8	4.8	34.8	2.0	8.1
	21.1Q	6.2	518	23	16	474	25	374	29	1.0	4.9	34.8	0.8	3.2
	21.2Q	5.9	615	11	▲12	609	42	465	85	1.1	2.0	34.8	1.2	4.7
	21.3Q	5.1	651	45	15	587	18	411	70	1.3	4.2	34.7	1.3	5.4
	21.4Q	4.2	365	38	34	290	12	241	▲33	1.5	4.9	34.7	1.2	4.7
月 次	2105	5.8	614	36	▲24	598	60	448	59	0.5	1.9	34.8	0.2	6.2
	2106	5.9	962	32	▲2	920	89	627	154	0.4	3.7	34.7	0.4	4.7
	2107	5.4	1091	57	12	1017	▲6	646	275	0.4	4.0	34.7	0.6	5.1
	2108	5.2	483	49	▲1	429	22	351	▲21	0.4	4.1	34.6	0.1	4.2
	2109	4.7	379	29	35	314	39	235	▲45	0.6	4.5	34.8	0.9	5.4
	2110	4.6	648	52	44	548	51	464	▲66	0.6	5.0	34.7	0.3	5.5
	2111	4.2	249	35	35	177	▲13	141	▲21	0.4	5.1	34.7	0.3	6.0
	2112	3.9	199	26	22	145	▲2	119	▲12	0.6	4.7	34.7	0.2	4.7

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

